

桜井古墳群と三河国

桜井小学校6年 伊藤 千紗

桜井古墳群と三河国 みかわのくに 桜井ハムー 伊藤千紗

5、
西三河
につく

1. はじめに

私の住む安城市桜井町には、古墳がたくさんあります。小学校の授業でもよく見学に行きました。しかし、こんな身近に古墳群があるのはめずらしいです。なぜ、桜井に古墳が多いのか調べてみました。

2. 古墳と桜井古墳群について

日本には16万基もの古墳がある。こんなに多い!!

古墳とは 3世紀後半から400年間つくりだした、土や石を使ってつくったお墓のこと。当時の身分の高い人によりつくられ、大きさ、装飾品、副葬品から、財力・権力を表している。

古墳時代は「前期」「中期」「後期」に分かれています

桜井古墳群とは 矢作川流域の古墳時代前期を代表する古墳群。

碧海台地の東縁部を中心に大小20基の古墳がある。

なぜ、安城市桜井周辺に古墳が多く築かれたのか?

- ・ 水が豊かな土地だった。
⇒ 水が豊富な土地が多く、自然と人々が集まり、集落ができた。その中で力を持つ者が出てきた。
- ・ 物流の中心は、矢作川だった。
⇒ 生活の物資や古墳の材料などを集めるのに便利な場所に位置していた。
- ・ 碧海台地があり、古墳づくりに適していた。
⇒ 古墳で権力を表したい人々から見えやすい土地があった。



鹿島川と碧海台地(右側)川の周辺には死後調査が行われている。

碧海台地の利点

- ・ 台地の頂上、水が流さない。
- ・ より高く空に近い場所につくることができる。
⇒ 亡くなったあとは神に近い存在になると考えられていた?

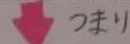
5. 桜井古墳群の始まり～終わり

西三河(矢作川)と東三河(豊川)につくられた古墳のまとめ



① 三河国、ここにはじまる!

古墳時代前期から100年間、桜井古墳群に首長レベルの墓がつくられ続けた。当時の西三河では同レベルの古墳群は存在しない。



つまり
この桜井古墳群が『三河国』の起点だった。

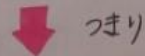
※「三河」の漢字について... 古墳時代は「三川」。その後「参河」となり、平安時代に「三河」となった。

※東三河でも古墳は作られていたが、当時の東三河は「穂の国」と呼ばれ、三河とは別の国だった。

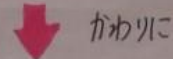
② 別の指導者が誕生。キーワードは「ヤマト政権」

当時の日本をまとめた有力豪族の集団、政治の中心。

桜井古墳群では、獅子塚古墳以降、目立って大きな古墳はつくられていない。



つまり
政治的な中心地が桜井地区でなくなると考えられる。



かわりに
矢作川河口に「正法寺古墳」という大きな古墳が現れた。

古墳時代中期は、西尾市吉良地区が三河の中心だった。

正法寺古墳 前方後円墳約94m(西尾市)

古墳は木に囲まれていた。形がこぼれに残っている。



形がヤマト政権がつくった古墳と似ている。ヤマト政権に認められた首長が三重県に同じ時期に似た古墳をつくった(宝塚1号)

↓この首長は



三河湾が見える所にある。

三河湾、伊勢湾を支配した可能性あり。

③ 中心は東三河へ

正法寺古墳以降、西三河では大きな古墳が
 なくなつた。(円墳中心) ヤマト政権に認められた形が
 つくれる形。
 代わりに東三河に前方後円墳が多くつくられた。

ちよこっとメモ
 岡崎が中心?

矢作川中流(岡崎)にある
 「^{かたがは}甲山1号古墳」
 60mの円墳と見られたか
 「120mの前方後円墳」かも
 しれないそう。そうだと、
 西三河最大となり、当時の
 中心は岡崎?と歴史
 が変わるかもしれない。

西三河の勢力は落ち、東三河に権力が集中した。

船山1号墳 前方後円墳 全長95m(豊川市)

この時期につくられた東三河最大の古墳。古墳が
 けずられていた。

ヤマト政権により任命された末徳国造(東三河のトップ)の墓か?



④ 古墳時代の終わり

三河国と末徳の国は此の三河国なり
 「国府」(豊川市)が三河中心地になった。

東三河の勢力は古墳時代終わりまで続き、三河全体を支配した。
 一方の西三河は、大きな古墳はないが、ヤマト政権とのつながりをうすめ
 独自の古墳がつけられた。(中期以降でも、桜井でもつけられた可能性あり)
 しかし、薄葬令や仏教の普及により、古墳はつくられなくなり、人々
 は、ちがう形での力を表していくようになった。

6. 感想

「三河」の始まりが桜井古墳群である事におどろき、そして、桜井に古墳
 が集まっている事に納得する事ができました。古墳の形や場所だけでも、
 当時の歴史が分かり、おもしろかったです。まだまだ気になる所もあるので、
 き続き古墳について調べようと思いました。

参考文献) 「安城市史10」企画展「三河の古墳」三河国、ここにはじまる、「安城市歴史博物館」吉良あいは産の星
 「し設」岡崎学-岡崎を考える」講座資料、西尾市「正法寺古墳」パンフレット、大阪府堺市、安城市、豊川市ホームページ
 (その他、インターネット)